

梧

溪

集

六

王原吉梧溪集

第六卷

第七卷

梧溪集卷第六

江陰王逢原吉

擬河清頌有序

草野臣某某言臣本江陰鄙人也素不希仕進甘分龍
晦讀書向道以詠歌雍熙之治比鄉邑多故客遊吳下
且七年今年春三月躬聞黃河變清混合雲漢昭融光
岳青徐齊魯淮楚之間神人驩抃魚鳥咸若卉木品彙
盡沾休澤竊惟河源自天注地中經亘袤衍不計幾萬
里夏禹疏鑿功用同大厥後華夷殊域雖代見激激誠
未足當天地嘉應我朝一海宇昆侖葱嶺始在化內仁
洽德流垂及百年天用彰報陛下陛下仰契俯察日夜
澡滌心慮拯塗炭下民以答我皇祖考之祐昔漢以甘
露降而紀歲唐以醴泉涌而製銘臣謂自三代來莫此

梧溪集卷第六

為盛陛下聖德遠邁河伯效珎固宜作為文章聲之樂
官薦之清廟特著國典傳示無疆願不備款臣思深涵
育分踰贊述謹獻江浙省以聞頌曰

皇帝即位三十春黃河變清月在辰乾端坤倪浩無垠一
氣混合析木津昆侖葱嶺涵大鈞洛渭淮泗嘉應臻風魚
無蓄龍擾馴桃花不動波滄滄陽和郊極現鳳麟紫貝宮
闕闡恠瓊河伯率職海若賓天其念茲昏墊民于以淨洗
戎馬塵槎孽沾丐咸與新江南布衣草野臣踴躍百拜頌
斯陳於穆世祖堯舜仁大禹功澤歸聖神

予讀王逢氏河清頌辭達而意敷得婦美之體鮑照不
得專美於前矣故為書之前大史知制誥鄱陽周伯琦識
逢擬此時至正甲辰歲公則以江浙左丞遷南臺侍御
史不赴遂告老中吳云逢敬書



懷先民賦有序

烏涇世儒僅有張氏其先開封人仕高宗儀鸞司門既
扈南渡樂是卜居後寢昌大離列苑第曰太祝曰上舍
曰進士角德翼義咸負譽望曰驥院質木饒訾益丕拓
湖苑屬元初官脅售其弟爲倉征邏司族就衰替十有
三世孫隆力田授徒幸延餘緒搜擴遺勝疏葵剗菜於
是小山平林襟帶溝池凡樹石巖磴以植以闢積勞於
躬粗有成趣至正丙申苗兵燬掠朽齋歸存又十年隆
盡歸之于予乃因其舊稍更新之增崇浚深標竒著美
遂號曰最閑園且次其所在用載用詠之矣尤懼跡忘
於漸事湮於久復名其山曰先民一丘溝曰先民一壑
立表兩間清浥秀萃庶乎見景慕于前脩抑示崇廣于
來裔也予不敏蓋有賴先君子庫使勤公于茲土天用

梧溪集六

二

食報畀有其世業於乎凡我來裔詢事考跡以無昧於
先民則吾先君子之德其忍有忘已乎序而繫之賦曰
繫予嬰世患兮幸謝病於藩垣家轉徙而仁里是擇兮得
儀鸞之故園仰有時頰有流兮若天建而地闢矧磴繚峯前
列兮水落蕩夫橫碧樹叢轆圍且合兮起拱把於封殖
蔬畝麥疇胥映屬兮匪一朝之人力詢肇基於鄰叟兮曰
高皇之南巡箕塊輦石畚鍤並興兮冠蓋續如春雲迨國
變而門祚中衰兮尚佩衿之振振何集蓼於暮齒兮室罄懸
而研塵夫締褐代服兮鼓鐘代奏鵲巢鳩有兮鳩弗善構
緬惟顯考兮著効茲土默相俾承兮猶白納杵期一日必
葺兮覲三年有成懲鳩毒爲狃安兮懷熊膽於劬經在舊
喪有賻兮田祖有祭一丘一壑兮先民用字延余薛之顛
爽兮激烏黃之濁流鑒雲間之聞唳兮杜谷口之鳴騶企

文子東吳方夢禮樂夫西周庶景行奕葉之作者方而
忘其劬曠學少之貶羞亂曰饗有蒸方捫有蘿沅浚深方
時增歲月關林方靈洒翠直少微方迴明河魚載方沫
煦鶴脩方影摩山鬼卷甲木客寢柯伊予禁冠藏之層
阿造化邀焉吟域方萬漚咸歸一波感氣類以相取方宜
神鑿之聯過於乎孰謂同野可啼方而爭壤之可訶

林屋餘清洞賦有序

洞自予始而寔開園之清勝並華前後左右中峙直郎
小峰一殆主山也下列樂石二曰泗磬曰豐鍾用節
歌長夏容徑造團蒲或坐移日曰作是賦以見暮志云尔
餘清伊何秀割林屋土山抱石峰轟轟排豆岳負壘瓦谷頽
芟仰篁木通辟門方包洞腹雲一窩方陰四綠冰百步方
寒三伏曼泗磬方豐鍾口商歌方踞吾足蜩如方移響
鵬脊忘方下浴水幽黝方涵衣日旱暎方隱轂夫亦使方
彈鴨陸魯望與元方友庶李泚激濟席方若居車豹來損
方蒿麓高太素彼或死以尋盟方顛躬候方遐躅好風
誰將適洒徑苔高士杖屨孤臣襟開我巾飄倒影在杯
頽茲盡樂鑿昔可哀文賈詔於新室琴掩奔于蜀臺鸚鵡
殺其鼓更沈香窟夫仙才幸羊質而蚤戰延馬齒之待摧
葶悼暑王梧悲秋回瀾地苦汗漿征途浩歎埃席冒之翠
岌然控練江方故國鞠為蒿萊兕且闢而且構方庶往還
方優哉童蚩方畫大咲矣嫁耻乎陸壘

言壩吟一首

歲反關方蓬戶月微行方藥圃兕相藉方婦乘桴不違家
血方寧疾世迂弧矢具弦方狼角若崩能似聞雉方揚安
知鷹羅黑颯作方曠黃城與有求山人方言歸于澄澄江

六歌有序

六歌者家閒園丁之作也丁婚娶幸畢齒疑加暮才業不能上於人是跡則與勢途相背蓋二紀矣夫考槃采芝世莫追擬是什也竊惟豐山鍾霜至而自鳴欬其禮雲曰雲何禮兮山中高子兮天南東或碧合兮素抱類愁思兮從無龍獸金精兮降西極挾風伯兮走沙石鷓退飛兮鴻無留跡渺親舍獨耿兮聊致恭乎松柏其二懷霖曰楚軍挾纊兮燕谷温我姑置兮緬懷殷人殷人兮為誰氏感高宗兮岩穴起霖大旱兮舟大川上輿析津兮騎箕尾聖途壅兮賢違夷風猖兮獸隨據梧暝兮曾移時况三尸兮籲帝以詞乘大輅兮冠喙雲翕爽兮降下土其三賓月曰寒霾驟兮安之陸媚狐兮川噴鯨帽高屋兮表重據鐃實月陽出兮如夙之期光溢林兮爽浹豆卮石立諸生兮後先孔儀舞雞念在兮飯牛志聯氣夜存兮鄒孟實師井絡東上兮河鼓向西望舒駕邁兮影流堂堦今時何時兮斯觀匪夷其四掃葉曰冬迫兮秋徂鳳郊麟極兮無時樵蘇溼園數畝兮兵殘燹餘林葉燹兮若天委地輸且箕且箒兮磬折老軀勞甚嬰骸兮心無其虞彼新蠟屋誅兮貧莫我俱其五采齋曰山黃落兮虜現石體水歸源兮洲露鯨尾乖雷震兮喪也馬無馬兮車無柅病謝至屢兮鬢變餘幾童孫何知兮退進素履諒苦節卒貞兮園采有齋其六喚和曰寒日薄兮西枝身重壯兮無時慕伯玉兮者化忘李廣兮數竒維馬兮齒老前齊師兮病知道鱸脩大兮泳泔雜華章兮伏草誰其逃兮民之先喚至和兮彈無弦白雲抱石兮青鋒劍刺天虜柔不肉視兮內養維全

夢濯足

道固委蛇兮匪蹉則跌夢維濯足兮巫咸何說汝無蹂龍
兮龍不汝齧君黃二鄉山名青屬兮歸鞅其稅嗟嗟夸父
兮狂奔彌曷

留瓢湖夏生鼎名其軒曰酌清一瓢而爲之辭

彼湖氣盈兮我瓢腹朽爰酌清兮沃我焦焦沃兮黃寧嗟
風無時兮日車搖搖賢有樂兮聖尼隱有辭兮帝堯瓢可
破兮湖不可唾鮪寒在藻兮龍也泥卧

華綏贈張司征有序

華綏美烏涇稅副使張履謙也謙雲中人以官門秀造
再遷司征于茲首見予林谷下言溫氣粹殆有容者既
而先綏後條實夷魚蠶紛輸沓委宿負畢償常課有贏
薦紳游從尊俎談詠未始徇貴勢率儒趨焉踰年大使

梧溪集卷六

五

呂子敬至又六閱月今副使樂平朱孟淵實代並謁予
曰涇之稅有局歷歲一紀矣裁履謙得書上考其母華
夫人死節抑嘗託先生文垂不朽是行也可無一言贈
乎因重敬淵請且仕與學其果能效也乃序乃詩曰
我伏維奧兮我栖維卑之子之顛兮深裾華綏踰年報政
兮春生烏潯詩書行色兮金玉德音世無狹回善步則裕
裕也伊何親教有素

張節婦孫氏哀辭書黃黼成章詩後有序

予友生黃黼嘗示所挽江黃張節婦玄一詩且曰節婦
者其同郡經歷孫震卿女初震鍾愛玄慧介贅張某六
閱年所有子二長鎰次鈞而寡由此益清約自持擇師
訓鎰鈞並娶至正辛卯穎亂滋乃盡室連弟屬舟濟江
南岸未久烽迤迤尾逐遂相率次潯涉番入泊軍山湖

明年仲夏六月警荐急遷冠遇鎰被執壯衣齎蕩然樂
土善地舉淪陷矣玄仰嘆曰未亡人所以健徙者與保
全耳子虜家破潔身以尸水府國天亦厚焉時家婦呂
養女招妹偕應曰母姑既命忍苟生耶於是鑿而沒者
又二十三人鎰今舉秀才丞英山黼齋職儒頌上其言
是信間為請予樂序而辭之非闕靡非也胥發揮也辭曰
茲長何辰方寇合烏兕生捐方牛馬驅航有斷港方坂有
覆車家喪技窮方曾不若狗鼯女丐母方婦向姑誓下慘
方水仙祛治日蓋久方著決甌俱風節之凜方世教之扶
吁鬼不終餒方天孰謂吁

黃良臣哀辭 有序

辛亥春某倉儲事覺上海連黃氏子良臣良佐械送秋
曾臣謂佐曰元季凡隸于倉者猶荒雀趁熟耳今倉禁

六

嚴飛况遠不翅火燎毛我本孤衷嬰保護之傳教之

迨長皆對父賜非對父蟲出幾何歲矣我幸無內顧辜
功第委之我尔生還葬我先壟以報對父于地下歿存
庶均矣乎遂相對慟聞者莫忍仰視比推轂一如所言
而佐果得釋對環和謙春好禮與予善臣氣幹類藁趙
產孝友蓋由天性云佐一日衷麻來拜請曰佐伯父母
蚤世伯兄又徇義死黃氏德祚延俾舍中有一尺雖必
胤伯兄後先生大人行辱過聽焉予嘉悼久回附其言
于哀臣序辭曰

大夫殃及城火遺酷吏獄具牛毛辭借死獸眾古有之子
安者何命非時驚風千林枝葉披柳車道擁山川桓伶俜
從弟莫已思斲天筮祀將弟隨我哀救以七字詩朱顏鐵
肝天下奇

焦德乙郎哀辭有序

焦諱白字任道本淮人遷長于吳材志不羈張氏初辭
湖學教授辟客柳海上興到作詩畫率不凡醉或濯風
弄泉曳影月下俗目之迂白自若也張亡在所蒐儒遂
變名德乙郎浮寄冗食僧舍惟久於嘉定林原家一夕
心動省母吳城為門校察延對其子未幾郡曹拍至部
日以還養告弗獲寔且病或諷曰若頌而髯黃金加鞋
爵列侯等不猶愈帶索耶輒不答去殆伏枕作書二一
囑嫂延善事毋一謝諸舊卒時歲在龍壽甫五十考文
烟天曆間社稷署奉禮郎予其兄行也哀之辭曰
德乙郎皎衣義不汙蟻長干泥裹骸骨以歸無從涕揮噫

曾傳哀辭有序

傅字幼岩宋賜金紫鄉先生碩之十五世孫也至正乙

未亂父銅陵學諭諱思順憂悸歿碎地既兵猝臨二
妹義不受蟻胥蹈死傅被創絕後蘇幸嫁甥厲免
共畢葬轉徙至海上丁酉秋以予薦主張林塘家首過
焉出累葉遺橐一束謂曰傳僅保此天不斬萊桂餘澤
使耕復芽而復有儒胤家難庶其忘乎予荅曰仁者必
有後自是交忘年十年屬歲丁未八月適中寒卒於乎
傳孝弟篤信人也奉姑稱賢節杜母訓蠅矩作鄉社師
在平居間言動文為又非淺露器而壽甫踰四十字嗣
緡始二歲嗣紳未晬其命耶賻以斛米斗酒哀之辭曰
肅之姪兮稚儀參敬輿兮持衷旗深褐衣兮擊帶垂弗
利逝胤兮適丁禍奇親憤卒兮妹義死痛巨創兮氣餘絳
藁葬兮封土姊灰容兮共艱苦野晦昧兮鸛警辰沙衛從
兮鴈遺序蓬轉糴食兮及此海塢假館授徒兮粗緝世緒

不大取錢兮烹小鮮無肉于豆兮有蔬于簞嬰襁褓兮乳
下甥佔畢兮席前夢寐桂曹氏坊名兮耕鼓懷孤柏父
號柏自兮募纒何東南存變革兮溘馱氛兮長捐於乎命
由天賦道繫時辰奚悲鵬止焉樂馬失諒消搖故鄉之先
隴兮敬恣龍兮綺秀鬱孔禰交不可復得兮聊俾嫠是吊
莫之以卹爛雲兮華星愴對兮篇帙

仲倩許生柏哀辭有序

柏字友倫為同郡許泰和之季子予之仲倩也許氏醫
承十有四葉而柏孝友睦卹之聞錚錚族里尤工詩鵠
綬翟章影日林澗不幸三十卒予撫哭曰許氏杏失一
林吾家詩賦一孤矣既哀辭曰

榴英兮朱房芟濯兮翠裳筍登殖兮蕙宜壤雨壞風
折兮又隕以夏霜行豐壽留兮仲倩之傷傷之兮復何喟

悔交來兮志孔厲高扁誰兮去晉陋華佗兮死魏已焉哉
詩減一泓兮載湧予涕

租籍銘有序

租籍一帙先庫使萊亭翁之手書也逢倉卒去乙未亂物
多散遺而此儼在沾洒伏覽尊容如對之字畫外因憶幼
侍側承言近代有王士良者本庸氓歲租入義令種戶自
量亡良字由自量易致感雨蘇旱見載鄭上舍所南錄
爾小子善推是心曷事不濟逢佩服幸老矣序而銘曰
粵昔去亂廬燔田墟手澤之存百艱身俱維存維天猶古
作則繁星寒芒蒼柏勁色航冬麥夏平恕行槩驟裁饑
汗力是貸偏陬下邑一石二科倍取旁斂貪涓成河孰善
為道庶草風靡歎恨聲蠲胥樂田里孤露餘生弓箕忝承
序銘籍左用飭後仍

銀星硯銘有序

硯江陰許恭和氏所藏物也膚理縝潤微縹有星英
然印若銀鑿蓋歛石之精者周郭纖圈上下均一而摸
製尤工既以徵予銘予謂許自邑宋駕南業醫凡十有
三葉追恭和道益彰更涉世患族姓具全遺物並在其
守之確施之溥者歟遂為銘曰

少陽委精歛孕英金礪玉琢散素芒體虛用晦恭和堂涉
世多故同壽康孫善藏世永昌

張氏石几銘有序

几蓋元故丞相公諱瑄園堂中物也成宗朝家沒几為
隣有樂六十年兵興世遠而公玄孫守中文行日脩勤
几復焉予嘉歎而銘曰

趙婦璧合返珠茲几石二者殊不遠復有孫儒祖來馮光

氣敷心抵若左右隅浦維黃涇維盧尚永傳戒尔孳

章氏激懷樓杯銘

無查滓酒則激無物欲懷則激汪二春暖維德之朋

山雲杖銘

鮮衣怒馬彼皆子舍教表帶索子不我却富貴多危負賤
乃安將子是倚是賴尋微灌于山間看牛斗于雲端庶乎
免世路之難

瘞冠銘有序

冠名製不一予中歲始冠處士冠養病家閒園自是或
峩而瞻仰而捫俯而擷者九閱寒暑一夕戴微月入幽
貞谷將登濯風之所適露澄滑足側冠舐石以裂目憶
九寒暑間避兵塵再今儒鄉守臣致書幣以予應
詔三卒首全且不起異復舊業與之照影大江挹葵君

山至同朽席帽峯隴下詎非顛欹冠已矣予悲救并是率
乃會數遺老覽而藏識而銘曰

子疑根於天禮維尔先寧瓶石碎不抗塵全意以尔炊曾
不若侯房以表以辭異夫救蓋惟新加之首心其故思

儉德堂端研銘

維平維方遠險蓋常方維重維厚靜乃克久兮玉韞水涵
類養引恬方殆惡文著雲霞緘方時否斯真道其泰清芳

存心齋門銘為郡知事海寧楊子明作

一氣塵心萬彙其芸二乎命於兩間靈其惟入乎心攝
夫身其道君子六鑿其從而委臣乎其靜也先天地而純

乎其動也後天地而神乎疇亡其誠而雖其真乎蓋益返

其根乎猗歎元條其採其存乎爰闢齋居八函洞然其無

塵乎藏脩息游儼若思之長乎存所存其事天乎推所存

其新民乎朝斯夕斯將同歸道義之門乎

鐘銘有序

上海靜安寺舊鐘入於官寺僧覺曇募銅至六千斤而

覺氏治範成且有日乃介前淨土住持元淨乞楷溪池

人王逢銘之舞曰

金聲為物鉅曰鑄深徹泉府高達穹谷傳海應流景風頓

息諾苦開群蒙耳塵空淨心觀通六函具圓佛性同博哉

功施垂無窮

虛龕箴有序

韓景暘司丞子頤聞予密室成為寄木綿布帳用資靜

學因頰曰虛龕而贅箴左方

龕中虛息以予二虛中靜與俱夫舟載諸物較運八微火

燭群暗谷應萬竅虛其妙哉君操於治而民轉犯虛其室

也臣急於察而吏愈貪虛其塞也父子夫婦兄弟朋友凡
憚虛者世共疚焉使一日拔地起山嶽而不為礙使一時
亘斗弥雲霧而不為昧不隘于江海漲溢不動于風霆震
駭斯虛之太者乎嗟乎顏子實若虛予老未聞道卧而氣
昏坐而形枯烏知易之二用行六爻位蓋無中庸心學天
人同德將蹈書寢聖謂何誅

三教圖贊張渥村厚畫題于張氏味尊軒中

東魯一貫西方不二老氏得一教分道異忠恕而已竊聞
諸師歎它未遑莫既贊辭

石生贊二首有序

密室前列峰石二曰斬角生玉筍生中置小碣命工刻
辭發善徵逸庶望子弟焉耳

石生斬角重厚端確出我門地隱若一岳浩氣直養道體

有卓立雪肅然類也古學曠頑受煉璞渾聽琢誰甘下愚
視此望覺

玉筍石生秀銳直貞抗節淇綠含和藍英伊誰偕歲嶺角
薛纓梧月既彩竹露與清軼塵席丘嚮風穀城用嘿絕晉

永崇令名

瘦石贊在先民一丘間

石有瘦璞無脛無脛徒走以售速剖有瘦健守不偶致壽
吁山藪藏疾天造就尔質

直節峰贊在林屋餘清洞間

小峰直脩礫砢錯節靜壓岩洞崇餘林茨塙三生風隱二
豎雪受命不回我瞻則悅

鵝生爲傳

鵝性剛慄身視鴉不能十一凡見鴉絳巢所輒不絕鳴猶

為首尾

今稿... 一鳥狀斑黃... 入字為... 非其類也... 性不能... 抱仗... 竊... 羽... 遠引...

蠍名... 有

鳥... 擊... 引去... 乃... 返... 若... 護... 林... 然... 故... 又... 名... 鴉... 勇... 鳥... 有... 驚... 味... 者... 子... 將... 談... 東... 率... 像... 鵝... 否... 則... 敲... 為... 伯... 勞... 害... 伯... 勞... 即... 賜... 惡... 鳥... 今... 年... 丁... 巳... 地... 巢... 家... 開... 園... 大... 柿... 木... 既... 產... 雞... 一... 狀... 鸚... 而... 小... 色... 竊... 古... 殘... 字... 藍... 女... 白... 間... 稍... 現... 之... 其... 鳥... 也... 鳥... 充... 自... 肉... 食... 徐... 遠... 適... 云... 或... 曰... 昔... 宋... 康... 王... 時... 雀... 生... 轉... 木... 火... 杜... 屋... 今... 鵝... 過... 惡... 保... 善... 俾... 他... 類... 遂... 生... 養... 與... 雀... 異... 鳥... 種... 九... 出... 應... 天... 時... 關... 人... 事... 少... 皦... 用... 名... 農... 正... 官... 尤... 非... 鸚... 儼... 斯... 寵... 微... 次... 予... 聞... 而... 輒... 曰... 予... 涉... 壯... 強... 艾... 年... 未... 始... 裸... 升... 斗... 茲... 謝... 病... 且... 老... 尚... 奚... 謂... 然... 帽... 峰... 隴... 畝... 在... 天... 其... 示... 婦... 田... 哉

走菜對時聞黃岩官兵不利

漁者市燈... 而號曰走菜... 惟而問焉... 漁者曰是... 蟻也... 俗... 以... 走... 菜... 名... 逢... 曰... 菜... 穀... 之... 醃... 菜... 熟... 入... 無... 饅... 色... 此... 名... 厚... 菜... 甚... 漁... 者... 曰... 此... 菜... 名... 是... 猶... 晉... 人... 以... 魚... 為... 菜... 也... 逢... 曰... 奚... 以... 走... 為... 其... 蠍... 幟... 然... 其... 目... 炬... 然... 其... 足... 支... 然... 其... 居... 穴... 視... 專... 成... 然... 水... 照... 草... 食... 橫... 行... 無... 前... 得... 無... 螳... 螂... 觸... 輪... 之... 勇... 卒... 漁... 者... 曰... 螳... 螂... 激... 壯... 士... 有... 功... 彼... 雖... 被... 堅... 執... 銳... 不... 過... 據... 地... 則... 會... 諸... 岸... 暴... 遇... 敵... 則... 走... 以... 幸... 生... 如... 是... 而... 已... 逢... 歎... 曰... 蓋... 色... 厲... 而... 內... 在... 者... 歟... 今... 食... 焉... 而... 避... 其... 難... 者... 亦... 其... 類... 耶... 漁... 者... 啞... 然... 笑... 曰... 子... 未... 知... 走... 菜... 皆... 不... 及... 烏... 賊... 胸... 中... 有... 甲... 也... 尚... 敢... 望... 螳... 螂... 哉

題頤柏貞松泉卷

長松... 寒... 泉... 離... 石... 堪... 把... 幽... 人... 於... 焉... 隱... 頤... 仰... 與... 世... 寡... 鶴... 巢... 雲... 卧... 時... 須... 飲... 月... 明... 下... 悠... 然... 古... 根... 坐... 漪... 舞... 翠... 雨... 洒... 餘... 齒... 三... 休... 真... 昨... 夢... 一... 炊... 假... 萬... 有... 靜... 觀... 妙... 庶... 希... 得... 道... 者... 松... 花... 釀... 來... 醇... 客... 至... 權... 洗... 畢

陸貞婦趙氏有序

趙氏為安吉慎長澤之孫女而郵處士陸燾之妻也至正間兩浙多虞燾辟海寧主塾與趙隱居松之瓢湖丁未夏四月海隅有警既兵猝至燾偕趙倉皇赴舟未遠同難者爭舍舟陸竄燾登岸將復携趙以行而兵偏之傷刃者三遂仆深淖趙竟自投于洲當時有歌之者曰四月三日兵撓湖婦女多被辱與驅殉節伊誰天水妹燾字子臨雅交於逢：序而詩曰

瓢居澤國與草木潤不枯千年瀟清氣鍾毓貞趙軀貞趙名門息良人列仙擢廿載甘藜同一旦幽明殊規雨有穴蠲相風有竿烏夫：婦：職焉知兵為虞維北崇潑山廟顏秦三姑似傳雲鶴君招要天水妹綃裳翠羽蓋明月雙佩珠邦侯俾從祀庶激後世淳

愛萱堂有序

愛萱堂者瓢湖夏生嘉奉母吳氏之所也嘉鼎與母秉鼎幼失怙吳時甫三十志不再醮撫育嘉鼎及長且延碩儒以訓洲之至是並敦學行崇孝養名其居曰愛萱前進士錢思復為記其事母今垂老而樂康逾壯年予併美之詩曰

故侯義種瓜隱士義採芝孝子知愛萱樹對母氏惟雪芽獻春饌細榮拱坤儀天人至文牋裕然全貞願瓢湖清且連鮫館冰蠶絲方諸淨開鏡伯仲雙從養長類寸草心釀作蟠桃厄嗟：凱風詩棘薪安無時

故鄉先執贛州興國縣尹葉公挽詩有序

公諱森字仲實其先江陰人凡七世止一子故無支親曾祖青祖起宋潛德弗耀考祚承孤自樹會元師南下

率西鄙數千百人逆謁裨將陳於陳沙莊界矢一及尺
帛符里族賴以全公性愷敏通蒙古字學郡推擇為譯
史兩轉授將仕郎兩淮鹽使司監運緹船不勞而集改
鹽官州判官適大侵負海寇聚兇焰蓬勃公擒其魁迨
黨豎十八人時斗粟十千殍殪枕野屬倉庫並蓋義激
巨室發贏糧三千二百二十九石鈔八百五十三錠賑
四萬七百人復以二千一百四十五石救直續濟二萬
六千六百六十六人不足又勸善富者米一千六十石
給三千餘人省臣嘉公抹荒有緒檄攝富陽一如治益
官得米二千三百石療飢氓一萬一千一百一十九調
新喻判官時蒙山銀場以官估抑民市木炭由州抵蒙
路陔靡即上白西省蠲之旱屏僚吏齋沐以籲雨三日
農以穰慶丁父艱起擢上高縣尹俗尚訐有大猾况堯

格真集六

十四

挾子姓作民害言之部使者榜諸市仍疏惡於門以幾
出入豪橫股粟邑中浮梁當要衝歲脩輒敬圮躬募義
士黃氏等共分田置莊贍費自是梁永固官無煩焉
母吳恭人訃聞奔還哀慕猶實生已服闋陞承直郎贛
州興國縣尹比命下先道病卒時至治二年也壽五十
八葬柩黃歇山祖塋子仁蔭嘉興石門巡檢累遷至從
七品樂平判官涖政綽々父風而優於問學樂平子材
版授蘭溪判官蘭溪子齡一日袖同進士出身傳貴全
錄事所製公墓銘過予拜有請予惟生晚去亂甘晦以
老竊嘗錄忠孝節義事數十百於鄉先執敢辭乃叙其
槩追挽以詩曰

老馬知歸途游子久異縣鑿々鄉執銘芝鳳喜及見士生
遭登用如帆得風便萑蕪拔岩門菜色驩海甸山丁蠲

徭役田畷慶豐羨猾懲豪股粟梁鞏衆心眷計奔筮母喪
淚沁沙弥薦吉服戒中路河嶽氣葱蒨遂成采真游孰謂
遊魂變幹蠱光後烈竊交忝遺產大江流踈星其波自紆
練安得六七公為擬襄陽傳

題金故翰林修撰魏公狀表後有序

公諱璠字邦彥弘之順聖人也曾祖餘慶大理評事寬
獄多平反祖子貞堯荅館酒使父德元甄官署令公忠
明剛簡竒節自負由太學生中貞祐三年詞賦第丁內
憂服闋調會州司候不赴正大初補尚書省令史時上
廣言路公首論將相非其材且不當立宣宗德陵脫河
關失守必罹凶禍權殞隆德宮便故事省史無言事例
上優詔荅燕事竟寢遂辭退辟褒信縣令邊邑也屯兵
橫虐民公按法不少貸衆擁其長挫辱之公正色折以

梧溪集六

五

理莫不襮氣改儀封大建孔子廟三月政教興以毋高
年老請就養京師七年倒迴谷之役屢捷僉謂中興可
冀然將臣駐兵關上莫肯席勝逐北當國者又力主投
瓊孤注之說公憤然上封事引喻符秦淝水之戰甚剴
切不報京師戒嚴復極言勢危蹙矣外鎮皆無勤王者
惟隴右守帥完顏胡斜禰可委仗宜遣人論大計如訖
無人臣請行又為權臣所扼閱數月斜禰提軍入援上
悔無及恒山公武仙頓兵五塚山上欲趨之難其使近
侍李大節薦公召拜朝列大夫翰林修撰時國門外烽
警相望回感泣奉命比至仙已遁部曲散無幾公撫集
數千人推可帥者造符印予之自劾矯制罪以聞總訪
仙在留山公直踵焉或譏公奪若柄仙怒兵皆露刃外
嚮頃一吏與公辯公大聲曰將軍過信讒不加禮遇乃

俾齷：一小吏與天子使置對耶且將軍猶孤山谷間而左右無異心者以天子宿將故也詩不尊天子命安保麾下不有奸名犯分者乎將軍務鼓行無慢王命也仙揆不能屈出見公激進援卒不應聞乘輿播遷間道走行在仙已遣人誣奏公罪上以其謾不問天興二年載自婦德扈從幸蔡城陷北婦賢聞達皇元庚戌歲詔徵之尋卒賜諡靖肅無子從孫初後仕至南臺御史中丞仁宗追贈公翰林承旨初河南叅政諡忠肅其孫山東運司知事貫父辟地吳松廿革後窶貧益甚而不苟祿仕間示予家乘既為題九世從祖子平叅政致仕誥復合渾源劉郁河東高鳴所製靖肅狀表序之詩曰維公敦魏科戾契仕對世疾風草弥勁錯節器乃利心折謝玄師志奪韓愈使及婦國如燬涓水莫止沸彼蒼鑒忠赤

異代豐爵謚狀表垂百載讀之慄生氣羊頭騎葉乾貽厥漫刺字鱸江歲復晏搖雙蘭柶有懷置無言抽毫竦神思

送楊生遂出贅有序

生字士初為芝泉先生孫又從游吾門茲出贅請別也贈以言曰秦俗行雲間弊滋甚矣近見巨室壻其老且有孫而家廟僅有妻祖禰神主因諄曰若承大宗則歲時饗先將若何其哽泣不能對他可知焉生永嘉裔出世儒族幸鑒此毋蹈生拜授已徵詩曰

秋清五綵輿僕夫臨庭除郎君美冠帶出贅南里閭借問何所將一笥先世書外翁孱埏晚朴茂質新婦玉雪如牛羊充後闈駭徐環前渠強近親復盛行矣慎向趨情昵移素存溫飽喪遠面類言于飛燕更效反哺烏同室異祖祠祭告誠交孚庸貶化成俗毋煩邦大夫

題武州守張公奉先遺臺後有序

公諱思孝字奉先高曾祖仕金世居潼因亂徙家雲中
父林饒賞善直問伍枉人貸錢粟比償輒諭曰粟易置
陳錢散置盜予本意也奚汝息為或婚喪弗舉助賻靡
恡有相者曰若多陰隲當生子貴而受封公生年十三
師事燕名士史彬然慈授尚書于姚匡弼遂博學長文
辭由儒諭正遷前衛教授陞昌黎尹未赴分省面魯叅
政辟為掾至正己亥寇闕偏城公率哨騎出翦六醜首還
而魯魯遁急追止曰軍民莫不奮志決鬪勝則功顯死
亦忠也苟棄城走如責守何夜復潛往請以族黨家僮前
鋒自効卒弗聽既他將李羅代鎮朝廷咸推公謀辯政
擢都事尺獄案覈讞平恕明允衆號曰秤都司云轉守
武州皇贈林太府監丞尋大臣以武重地常調官難設

卷之六

施奏署公行刑部員外郎兼州事於是材勇集爪牙樹
法律嚴整強暴沮伏然忌將多弗協勳而國步亦蹙矣
洪武己酉召至時宰數獎勉留期年卒辭歸謂子亨曰
此無負吾學耳壽六十四終妻夫人華亭婦劉羅兵不辱
先公死之舅氏及慈母妹老無依養甚並如禮育姪舊
子女孤貧者凡三人俾習善藝嫁娶焉迨所遺臺有訓
亨曰意當極快處心有不平時少忍應無害欲言且再
思題二高曰綺窓花落東風軟曾讀曹家女誠無懷慶
道中曰一眼濁黃天塹闊半眉老翠太行昏辭婦述懷
曰敢效子陵辭漢爵顏同巢父樂堯年志行既見之矣
亨併乞予紀詠期慰公於無窮乃序而詩曰

雲中漢名郡恒山南鬱紆來源匯金龍池名柏林亘飛狐
剛勁風氣闢文華肇崔浩虞世南彬、張奉先發軔三轉

儒徽曾曾食璧花縣遠治蒲塔幢梢昇參

汗雷山嘗別業庸峪側棗柘聯瓜壺霜寒快雪霽小隊短

袴孺瘦馬仗黃蒼逐兔充燕娛塵高寇關逼剪翹六血

偈勇顛率先遁將寢所謨朝命佐他幙蔚破揚誠俘一時

秤都司綜覈無遺銖武州遂館綬刑部仍分符堡列屬鼓

鏡齋開衛戈爰焚黃拜酌酒五色日動鹽不謂強困弊治

羅兵掠屠家蹈白刃雙兒泣青燈孤鴈賓群入楚烟燒軍

違吳有天戴重泉無地返故都豪遺累百首暗夜光壁

烈悼亡詠注運覽晷遲去國懷落送柩酷下

何當平忠義日月俱竊咲投閣老玄經與童烏

史彬然者周王謀客也勸王即位席林詔天下然後之

京王遇鳩文宗搜邏謀者彬然聞張林重士尚義交

名託焉至正初如京與宰相啓有曰運籌聖惟之內

而不行草詔御榻之傍惜乎無用及見禮不少讓

十八

之彬然曰我嚮侍先皇燕坐彼皆執酒炙者耳仕祿

不得氣節不能下也既奏擢翰林應奉上曰此先帝遺

宿宜獎大任宰相對以布衣須循階秩彬然歎曰吾衰

矣豈為人應文字耶歸志浩然壽終高唐鄉里其於

史天文術數皆不精談嘗語武州曰惜汝幼不能盡受

吾學汝垂六十當見國改汝家子若女必有忠烈顯者

至是驗云

謁浙東宣慰副使致仕任公及其子台州判官墓

殘陽燠青苔檜夾神道古眷惟任公坐穹碑幾風雨能江

餘衣帶駝阜猶偃金荒寒螿尊堦慘澹蛟徙戶舊封四名

邦包絡吳水府不有疏導跡未已昏墊苦右軍社稷器世

仰法書祖公也白公鄭渾才特戲追頌席台州我如煙晚

訖託玄圃射隴面北辰霜至亦宿莽愴悅來軒車頭
章甫

予避地青龍時聞遺老言東盡艾圻浦皆葭菼蓀
氓十餘家日弋水禽野雉為業公產是間輒異群兒習
負笈力學年十八第郡試既冠宋革命袖一刺見游平
章竒之辟宣慰掾繼省授青龍邏官俘蟠龍寺作耗者
盡釋脅從至元二十五年擢海道副千戶以功轉正千
戶會征交趾改海船上千戶是年浙西滯潦建言河沙
匯乃吳淞咽喉不先此而他濬臣效大臣不納後果湮
塞大德七年重勞平章閣里起公智七十餘里萬番歸
之役井然有條率入覲成宗勞賚有差進都水監丞至
大元年除同知嘉興又明年遷中尚院判官適大都通
惠河開底鑽木汎湧流覆舟訛傳有恠物中書檄公

不兼旬繕完會通梗澁復室泉眼鑿僵沙舟楫以達陸

不兼旬繕完會通梗澁復室泉眼鑿僵沙舟楫以達陸
都水少監河決汴梁溢入歸德府治公結籬條鳳歸實
河口築堤五百餘里以扞橫流編戶奠寧延祐三年出
知崇明候學闡教民胥興行至治二年鹽官海激岸崩
鎮江練湖淤積並命公治海岸以固邦賦無阻泰定改
元詔賜銀幣與行省朶班左丞部六郡夫疏導吳淞二
道大盈烏泥二河事竣加江陰尹以七袞聞上不聽持
任都水庸田使司副使計創石閘六築塍圍八千浚溝
泆千有竒太湖衆水東入于海四年鹽官海荐為害公
一如制河決用再帖安以中憲大夫浙東道宣慰使司
副使致仕壽七十三卒諱霆敬字子明月山其號也所
著水利書具存尤善畫其熙春天馬二面仁宗詔藏秘
監其先本徐邳三山人考珣贈高郵知府妣夏妻高並

端音掃堤岸也

贈樂安郡君子姓多致通顯曰賢明精實太師針熅至
正初學士揭傒斯引見上欲官之辭歸監丞陳旅送以
序曰賢佐由陰累官台州判官階從五品遭亂遂遠引
相知予久長兒掖實娶台州女歿而自烏涇往祭就謁
宣慰公墓宣慰孫璞嘗割田二頃贍青龍鎮學中年謝
軍職迨世變一褐臥廬義不去圻上曰示墓碑乃錄其
槩於詩後以婦之

覽魯道原提學舊送伯顏守仁會試序道原諱
草玄收子雲養生殺封夜言從奚行違腹誅或唾罵魯公
山澤姿天子策親射一丞丁喪亂累辟力辭謝影息還栖
損臍退食柏麝茲文氣忠激玉杓迴紫華匪惟振懦頑實
是禪教化千厓天撥露萬水淮海馮鋤菜少我匹畫竹無
尔亞每過鄭同襟徑去阮獨駕春暄會飛鷲兩、淳安下

梧溪集六

二十

帶蘿拂松花絮酒瀝蘭藉尚懷推兄行縲故沈元舍兒夜
後執經燈前講王霸特立筆已矣竊喜絹增價為移淇澳
陰茅齋挹清暇沈元之梳士重義好客嘗薛文李官薦

鴈門秋意番為大同郝雲表題雲表偕其弟驥父偁
京口命費松年寫此以寓鄉里之思云

代州嶺頭開北扉地形倍高風威張遼爪牙將名在沙
陀獨眼龍潛輝晉汾水落趙日微楚萍實大吳旅肥雲中
羽儀伯仲氏南來雨雪序不遠北辰煌、天旋機伯仲行
逐春鴻歸春鴻歸冰蛆美拓拔舞進葡萄紫人生無如
樂鄉里

柳津孤鴈面題送烏涇黃生巖往穎上兄所

浦水渾柳條短短忍攀渾莫浣才郎衫佩青於莎將隨孤
鴻渡淮河酌之兕觥歌飄歌長酒深奈別何

邊至愚竹雉圖歌有引

至愚諱魯生宣城人材器超卓以南臺宣使奉命西
諭時嘗為鐵厓楊提學寫此圖後至愚竟以不屈辱死
朝廷追贈南臺管勾鐵厓既序其事復徵予為之歌曰
南臺管公有氣節手寫竹雉心石鐵厓捫其三寸舌奉
命西諭慎開說韓愈一使廷湊悅竹不撓寧寸折雉寧死
不苟活使衣無光日明滅悲風蕭梢吹駟驥齊城竟
生轍土花尚碧蔓引血我為作歌旌汝烈

吳興楊節婦辭有引

楊節婦吳年廿五有殊色至正丙午秋八月大兵將
徇城吳自揆汚辱生寧貞白死携二子竟投茗水逾月
城破父媪見其母子並浮若不相離咸嗟異焉天台旭
元明長老交吳之兄為誌其事予又因旭請詠于辭云

丞相張士信

師昏長夜酒司徒

援絕憑城守七萬兵分諸

將屯坐視霜風折蓉柳冰肌月顏忍泥滓錦初鱗佩同歸
水九原無愧先人面終身不作他鄉鬼君不見雕戈白馬
氣如雲昨者烈丈夫今日降將軍於乎楊婦吳氏何可群
汝瓷解引同張耘老蔭古心倪自明三遺叟賦有序
解本宋高皇壽成殿花餅御書遺刻尚在既破而工人
裁為解故人某購得之數出以宴予後某以憤卒解今
見於他氏感歎不足形諸短引

汝州甕冶灰久寒壽成宸翰猶龍鸞黃金為相號曰解
酒面紅縕舊花氣我嘗酌月江動搖故人掀髯把風袂若
不見周鼎遷秦缶歇露盤傾唾壺缺嗚呼髯兮死憤疾尸
鄉之翁得珍物新勿交歡勸酬密席端淚落疾憤筆
贈朱生弦有序

弦字孟清上海人性孝誼前邑長九柱間公見而器焉
求於其父以為義子及公野處窶甚而弦克敬養歿
買山葬如禮復營怡愉堂母事公妻夫人三十年猶日
民有盡弃舍償逋主者妻孥皇三無柰弦贖還里婦相
煽奔恣法曉教喻得止至若羈士趙謨廬墓教授駝
駝被辟發顛疾走山澤中遇弦遂脫難知予南園隘
購地廣之予固却弗之聽併用序而贈以詩噫豈溢
美哉斯善二也詩曰

雲東富家多北堂移孝義毋無此即竹萌戴土春鯉赤橋
子滿庭寒雀黃雀為母炙魚為鮓朝進盤孟暮杯罍慨
慷氣激燕趙間淫蠹俗俊棄濮下窳間園一菜飽充即
復廣園半百弓報之一字一絹直疇為賡諳愛日中

瞿仲諒先世雲岩翁水雲自在堂卷趙松雪書馮

梧溪卷六

海粟序在烏涇張氏舊月樓題

黃茅斤連鉄菱沙青枯歲服官茲車變遷劫灰凡幾見自
在水雲餘一家高堂歸若鏡光曉霽采倒含峰影裏涵
濡爽氣散金鯽歷亂空明蕪白鳥軟莎幕石堪枕漱偃
柳為梁謝工巧汪洋海度性天中款乃湖歌人境表先
朝詞翰兩勅敵三埋兵塵埋不得吾宗舊繪趙全壁世
所共矜神所惜素受繪膏傳燈笋生齊祖本仁義之
澤詩書承窳間園丁病始興銅瓦日射烟紫殼蟻聒快
聆鈞廣奏蛇縮愧續龍鸞騰春風酒熟當過汝月色
難聲瀉前俎破帽縱橫綉落花潭心鮫殷冰絲杼相
拚一月四十五日醉莫問誰賓復誰主

朱家奴阮辭

淮陰三月花開枳使君死作殊方鬼眼看骨肉不敢收奉

虜稱奴聽頤指經遼涉海三歲久以蝗為糧麥為酒饑
齒骨何足論親見徐山墮天狗今年始得問道歸城郭良
是人民非主家日給太倉粟殘生猶著使君衣攬衣拭淚
使君室涼月蕭蕭風瑟瑟回頭還語玉雪孤勿辭貧賤善
保軀瞻屋未辨雄雌烏

太真稱國二面周昉所畫者為郡牧長理熙伯雍題
有唐社稷冰山重三白楊花同一夢就中玉環春思酣錦
裸兒將犀果弄兒騎蹴踏飛龍輕直把東君遙斷送馬蒐
羅鞞汚香塵杜鵑淚血啼秦鳳君不見陽臺神女楚襄王
當時元有詞臣調

玄宗末年天降孽楊家有女俱朝列夫人身被六銖衣日
惹香烟下瑤闈侍兒春閒雉尾扇紅脂半露桃花面似言
草畫蛾眉猶及華清夜深宴君不見娥英泪染湘江竹
畫昉見貴良惡俗

唐子華知州山水

唐侯至正辛卯間徘徊列宿郎官班是時元綱方解紐花
縣尚尔琴書閒雲嵐黃旗紫蓋氣木石牛鬼蛇神顏岩
樓閣密寶經翁羅萬深紫闥扶藜老叟臨洄灣琴童殊
覺徒步艱何人驢背兀吟影興寄亦厭窮蹙攀君不見瀑
流天半落佩環款乃歌接漁舟蠻此中佳處未少我盤盞徑
擬背廬家山嗚呼畫史五馬何時還五馬畫史何時還

重過望亭新城二堡丙申冬張氏築

憶昔扁舟自西下二堡相望無一舍吳藩判樞翻覆是窄
衫小弓矜騎射婦人重絰但流水豆隴旁低復起長途
遺庶數十家三四酒旗風靡君不見邠公遷岐山衛人
城楚丘外患內備古所佯成同敗異嗟世偷

題徐氏脩學卷有序

今華亭縣學故徐德卿氏義塾也會學燬于兵官遂即
塾為學既德卿子彦裕上陳類廣葺之期年告成並誌
諸石而士之才者咸為歌頌予詩曰

曩世辟地識徐卿義塾初開儼似黌負郭荐增田十頃延
師躬泐里諸生魯隳孔壁聞絲竹吳破蘇臺走鹿麋令尹
散揮新學紀賢郎懿述舊家聲太倉給米來庖舍射圃揚
旗拂棟夢登降有儀推揖讓仰瞻無極歎高明庭槐夾夏
群歆靜水荇涵春半壁橫抱送自天麟五色裏蹄已鑄
兩韓檠

謹節堂有序

謹節堂者華亭徐去奢居士為奉母夫人宋氏而作也
初去奢在壯年負氣志部舟師隸東藩以功超遷亞中

梧溪集六

廿四

大夫江西福建僉撫既夫人齒邁即棄官歸里當是時
妄躁子弟躡富梯貴恐浚孰肯一審慮耶死事至惠及
而蹈趙括之轍者何限若漢孝子王陽去奢其庶幾焉
去奢名去裕字仲寬世為素封之家又以庶民之孝痛
自勸尤可稱也詩曰

居士前為都護侯戈船犀甲戌東甌風連蜚海青蘋夜
日薄慈闈赤葉秋三組授來丞相幙六珈光動老人丘忽
興九折王陽歎絕遺長平趙括憂美筭嘉魚重鼎列護
花奇石半簾鉤導輿復見潘安賦墊角曾如郭泰留堂上
壽康猶事績郡中歌頌迭鳴球尚期丘嫂躬雞黍容拜龍
鷲禮並優

寄石經歷兼簡林知府孟善時歲庚戌

謝病松江辱載臨別來兩地異徽音朝盥首蒼齋居靜秋

水芙蓉幙府深乘月文鯤飛有翼東雲黃鶴去無心郡侯
多暇風生塵幸說山人感至今

松江謝病後寄林知府時歲庚戌

十載心存祖隴田六旬病守藥爐烟南歸始遂山人願

上薦難忘府尹賢紫馬書眠高柳日白鷗秋入大江天戴

符老去非安公浪受襄陽百萬錢

松江謝病還頌孔文觸暑慰問口號以贈

養痾淫上四逾年五畝園林十畝田白首素心無漢閣炎

風朱日似堯天已從蔣詡三開在望劉侯再覓船頭或

能詩頗癡絕汗流却話雪寒錢

張光弼判樞遠過宦閒園

峰關南北再塵清耆舊惟存張步兵一日數程風樺順十

年雙鬢雪絲輕詩題薜荔垂須壁夢醉青菊飲馬營狡兔

霜前落吾毅贈行聊激氣峰嶽

寄題鄉縣丞晉陽李景儀雪山石精舍

雪岩嶻峨汾水湄借問龍去幾何時荒城莫辨產地窟舊

隱適鄰鳴犢祠春青木客嘯柯嶺夜黑昂精窺研池要知

仕學本一致松廳退食靜哦詩

過劉緝元緝碩果軒效楊鍊厓體

澤縮壤裸山若孩尔家碩果熟徑開金刀下動鯉魚尾紅

樹暗結梅花胎客衣風穿寒太銳酒樽雨鳴春小來乾瓜

老繫從苦葉上林全借屬英村

張判府王上海數存問併答張巡檢枉頌

酒在陶尊藥在壺田園倚舍未全蕪三時雨候占龍毋繅

十日春容付日取姑牝丹列名生性禪謀有獲老憐醫武

使偏愚貴游下問終身事有愧郵書大丈夫

鍾上受欽處
曰舞
玉近山並也

松守遣郡博士辟至府既病謝張上海招宴不赴
雲林一辱徵書下客舍三煩齋馬過千里快風當六月中
年斜日奈長病熙違松上銀鱸膾酒遠洲前白鷺波野性
自今甘放逐水禽山鹿不吾多

觀靜安鍾銘還訪王靜習兼懷賴漁庄林澹庵

湧泉澹井獨經遊鄭氏橋西舍家幽避地無日同管華居
鄰何道得羊求漫推文字登鍾舞共慶章逢謝石頭藕大
玉延誰貨得雪泥行韭屈金鉤

會別馬穎漁

別業歸來千里餘秦山傾蓋喜無如青衫不污新豐酒白
髮終乘下澤車地入東南空驛騎雪消齊魯足淮魚彼行
此住情俱得尚約雞肥落木初

聶松江遣和上海具舟饋過烏涇別業名見既病還

荒雞亂叫過鄰墻茂宰驚來坐我床箭駛落潮千岸失鼓

懸斜日寸田方行躔却掃羈孤地奏目除名老病鄉試憶

大儒誰第一仲舒裁是漢賢良

庚申正月四日試筆是曉庭雪盈尺

雪庭罷掃若為懷體力差康道氣佳鬼有文窮延上座妻
餘法喜共晨齋江鶯春淺猶巢谷野雀寒深自入淮挑菜
燒燈連社酒本來時命不相乖

寄錢泰窩陳雲軒二遺叟

天轉雲東上六符有懷無寐枕同孤紫芝隱曲歌商皓烈
火殘經補漢儒私地春先梅老鼓盛陰雷疾草狂蘇相生
遲旦跡殊甚不計中流少一壺

伏龍山然唯庵建塔松隱藏所書華嚴經曰以先妣

李氏瑪瑙數珠附焉并寄是詩然長千岩高弟也

風卷重茅葺未能報先崇塔壯神僧一壺峰湧大圓鏡萬
象天周無盡燈負石鬼來雲似溱散花仙至月如冰吾親
手澤相悠久喜附龍函竄上乘

寄崇明秦文仲

渺、三洲東一隅葺茅先隴混畊夫道存醴酒曾賓楚國
破干將不去吳白苧袍成雖養鶴水晶瓜熟膾行鱸相望
暮景須陶寫可信歌游老伴無

懷昆山顧瑛玉山嘗棄官與家隱同里僧寺

吳門長嘯下青龍道過能詩禿髮翁九里水雲孤櫂泊
樓霜月兩尊同黃金浮世官俱棄白石眠雲草自豐
倦仰
舊游惟病在海濱倚釣幾秋風

題張浚山西堂

君子堂開枕九山翠屏玉案白雲間柳行接隴鶯聲迴
棕

梧溪集卷六

十七

影涵波鶴思閒伯仲賡歌皆老耄里間懷德半恫瘝重過
話及張公藝亦欲凌虛駕上攀

喜顏守仁教授留園館信宿

前朝進士過林扃信宿論心為竦聽雲氣夜蟠雄劍對天
光寒入舊檀青不同嘉樹生南國猶夢鯢魚化北溟老我
歸田有龍具僅堪供卧讀牛經

辛酉立春日溪園試筆寄錢艾衲張雲莊二叟

雨雪相仍歲又徂短衣楚製老東吳寶山偏聚刑餘鬼空
谷元逃行獨儒海霽郊雲升日角岸寒髡桮長冰鬚為書
春帖嘗春酒早覺蘭風拂壽觚

溪園秋燕又春鴻漸老形骸土梗同遑邨梟雄奔在野敢
聞駭牝集生風梅花占閣孤高雪菽筭穿坻短小紅抱膝
微吟忽成調一雙瓢影順流東

寄張戶部以忠就問死節丁敬可平章子伯堅消息
丁嘗為主事張其史也伯堅又嘗從子游於金陵

侍郎南下喜尋盟有子能官養復榮淞泖雪鱸來曉按伊
梁金鴈歇寒箏職方面版勞賢久神武冠纓入畫清聞道
舊趨丁相幕巨源於紹不無情

題朱松石左轄歸來堂

舊時山色抱新堂西望遙伸燕賀章金甲樓船爭破浪角
巾藜杖獨還鄉鶴孫影躑松間石鶯友聲過柳外墻盡屏
陶朱老心事黑甜清泗到羲皇

同誼書記遊查山留題淨無染西南林壑

地湧禁林小翠屏海吞孤障半螺青岩扉老衲忘人我石
甃神丹護甲丁吳甸土寒黃耳魄秦山草獸白蛇腥放歌
適在風埃表幢節浮空若下聽

寄漣蘭江長老時其徒勝文海主東禪乃蝦子道場
茲採三江同謝徵詩狂禪唱罷馮陵乾坤影合中條壙日
月輝交文室燈遺世久忘形似木扣雲曾得話如藤願言
流水師今是萬翼神蝦再上升

趙破螺徵士過園館言近况飲之以酒壯之以詩

牧羝山澤避徵書還守駝墩小墓廬乘角履穿猶說劍一
錢囊剩不思魚潢汗毛薦寒逾肅織誦聲連夜不虛况復
永嘉天派在左懸朱轂相王車

同錢思復提學曾新民教授過松庠儒職沈純軒

沈郎儉謹居松郭新築純軒小似蝸天厚水雲千畝利世
輕鍾鼎五侯家執邊况是清脩職登饌真便老鈍牙十載
澹交方尔過宣長如帶杏初花

辛酉雜題

斗酒豚肩紫紫裙過家無日淚橫紛兵餘姊妹皆黄土天
晚江山自碧雲陸喜在吳嘉隱德隨何遭漢擅名文先人
遺體猶清健會倚陰二里社枌

遺經姑置楚包茅新筆恭書盤上交利盡島溟珠象郡道
湮周魯鳳麟郊看雲杖名暮影齊巾角滴露酒名春聲落
枕凹自判優悠不堪事鷓鴣添室翠分巢

槿籬莎徑入林堂春作無牽午漏長音歇野鶯新綠淺影
浮潭鯽小紅香誰家數應中和節十畝寒輕二月霜忍貫
緼袍償酒債時人將謂獨醒狂

寄完哲清卿參政

六月青暘一葉秋大參躬自出遮留軍中取印舊赤手林
下墊巾新白頭監郡山園朝爽競幾人漏盡夜行休宴游
莫聽堂二曲蟹紫橙香風露秋

書西厦時洪武丙寅沿海築城

牀頭鴉卧久空金壁上蝸行尚有琴孺子成名狂阮籍霜
才無主老陳琳虹霓氣冠登萊市蝙蝠群飛願陸林環海
烟沙翻萬重連村霜月抱孤衾

秋詞

香散天街靜玉珂露甚臺風殿夜如何星從河漢澹中落秋
在梧桐踈處多鸞影不曾離寶鑑蛛絲先已綴金梭君王
璽館詢遺事却擬鑿金車共載過

沙館簡陳氏五星季兼示門生履道輩及似沙產約
沈鄉老鄉人陳漢翁時至正己丑

家三門柳暗垂橋曲二沙村遠應潮貧女採藍輸畫屋間
僧提鼓慶青苗大江春信豚魚起絕島天荒牡雉驕地主
幸敦仁厚俗欲從姍睦論虞此

聞臺中丞陳子山死節無懷陳東流

身繫存亡社稷秋世皇神主義同流火雲鏢海黃金冶翔
野垂星赤玉旒同產忍聞龍死蜀斯文真歎鳳衰周尚思
弭權君山渡不及相陪宴太丘東流嘗請予陪宴公不果赴

書無題後凡三首偶感燕太子丹事

火流南斗紫垣虛芳草主孫思愴如淮潦浸天魚有帛塞
庭連雪鴈無書不同趙荆歲文祿終異秦嬰袒素車凍女
中心湯於邑杞民西望幾踟躕

塞空霜木抱狼雌草暗江南羅射麕秦地舊歸燕贄子瀛
封曾昇宋孤光愁邊返照窺墻榻夢裏驚塵喪鞞鱗莫
讖白翎終曲語蛟龍雲雨發無時

幾年新膽泣孤嬰一夕南風馬角生似見流星離斗分謀
傳靈武直咸京九苞雖鳳冲霄翼三匝慈烏落月情縱少

當時趙雲將卧龍終始漢臣名

懷馬文郁御史斬惟正同知兼蘭陸公叙薛孟武

山茶雪蕊渥丹唇轉老東風倚杖身彗尾封狐營窟夜朝
行高鴈海天春磬襄叢武知何往瘦島寒郊不去負竊喜
孤輝上弦月一杯聊勸若為親

寄完哲清卿叅政其壻某近卒

大叅久別况如何萼綠花開鴈又過賣劍買牛時可得據
鞍上馬老無多魚隨春信登先豆執鳥匿寒形在舊羅孰料
周郎美甥館一床鴛繡拆孀娥

懷故園時寓隱烏泾十有七年

薇花空復故園情梧樹猶標里舍名山抱墓田廵獸白天
流江浦去鷗清蛭壘滿載憐洪嶠弩矢前驅隘馬卿他日
苟歸何藉口一門無恙讀書聲

題劉原正涉難錄有序

己酉四月松江里長以今年沒官秋糧坐移易罪者
百九十二戶徙賴上予友生劉冠時在徙中凡遇道途
之艱山川之險與夫先代遺跡輒形歌詠得若干首題
曰涉難錄及事白澤還也謁示予寓隱其留關山墩云
關山高兮磅礪上靡極岩千壑萬天咫尺朝嵐夕霏轉
轉陰絕磴聲耳石橫戟嶺半塔邊忠武伯旗亦相泉不
盈不縮通海脉仰頭試望榴棘中羊坂鳥道崎且窄倘
有餓殍屍前有猛虎跡上嶺如上青天難下嶺如下萬
丈澤昔聞劍閣險若此我母胡為此行役母兮母兮回
顧兒欲語復咽愁雙眉兒兮兒兮母手携欲上却下展
轉悲撫心飲恨言向誰鷄樹萬一東風吹才行槩可見
矣為題八句

百室餘千口遷淮共慘悽關山中道惡母子萬行啼月黑
相鄰帶天青忽聽雞哀成涉難錄田里慶安栖

寄信道原長老

舊隱過錫相違已十年慚非習四海為友釋弥天鷲嶺
岩花白鷺池水石圓何當地密迹蕭洒論詩禪

遊查山登僧雲岩閣扁曰虛翠留詩閣中

仙跡遺丹穴僧坊倚石林中宵龍甲雨三日甯蹄泐青巖
厓容立黃茅海色侵為尋霞上句鍊杖落清音

芮岸娉邀費孟霽同知陪酌背郭堂既同晚步口號
罷酒出前楹霜寒著面輕林腰烟帛束天角火鋒生卧木
橋通野跡留水隔城寬袍曳却竹俱老愧宵征

挽范德原有浚序

鷓鴣書長却皇比坐始專春風來學地寒雨送喪天范式

車何往黔康被不偏樓居啟晴雪憶說賀翁賢

德原諱致大崇德人脩行博學主無錫鉅家會淮張入
吳辟儒教授不赴既陪臣於張者禮置焉德原曰道固
在耳至則衿誦雲翕雨應不幸以疾卒賀丞相惟一嘗
延慶元余紹芳訓其子子不受教朴誤著其面微血子
奔愬太夫人怒適賀公退來省夫人曰而祖留守建馬
上切無膚髮挫撓今吾孫奚過師撻之甚耶賀侍久出
命蒸羔具醴宴紹芳至執醖再脩金繡雙段徐謂曰豚
犬愚下始谷鞭策勞耳紹芳慙有薦除臨海翁仁德元
由第進士錄事温州妻早歿二子知承家有汴宋趙宗
室必欲以女配仁力辭媒因告方氏師昏之濫乃詳諾
處之別舍半載方氏定卒歸之於平德原已矣當時客
樓霽雪西望九龍山清寒洒面而席上所言猶在耳也

予併錄詩後俾妣世曉賢者禮義所自出二公其賢矣乎

庚申七月一首時謝病松江

金火蒼龍角門庭野雀羅衰才歌鹿遠清枕夢魚多鄰有
通財好官曾勸駕過尚平償債畢晞髮石林阿

過翟雲莊觀唐功臣杜正倫下凡五十三人面像

風氣開龍馬天機貽鳳麟衣冠中古制經緯一朝臣河水
移源父雲莊盤露新相觀背搖落益自重遺身

寄題胡安州鼎文萬山草堂

孤洲西蜀角一室萬山分地雜刀耕戶天垂井絡文獸蹄
交雨雪龍氣變朝暉倅駕何為政峨眉眉秀不群

笑楊生士中

門友南遷歿初聞實慟予有天知孝友無日見樞趨壘
護懷春燕巢安怨夜烏堙光在別業吟思滿烟蕪

五律

文暈洲倡詠有序

予自至正丙午僑隱家閒園館時黃浦中洲生僅尋丈
許今已延廣三十餘畝歲賦官入諛曰浦夾輔洲如密
如丘實安衮二流洪武癸亥始携里叟門生共登臨焉
適群雉暈暎鷗左右衆請名是洲因名文暈而倡詩曰
盧涇初避地黃浦漸生洲里諛婦材傑天工障濁流望疑
堅壁守醉覺小山浮仙躡金鰲背神迴白馬頭根盤連厚
軸形勢壯遐陬漁倚盲風釣商藏疾雨舟篠鞭伸玉節菽
筍屈紅鉤烟火鮫人市雲霞辰壻樓沙津魚鼓急水柵蟹
燈幽民震方先曙吳淞木始秋老懷龐德隴隱覓謝鯤丘
僮御爭先導吾儕試一遊賡歌清氣合樂志古人俾可信
文暈雉能盟懶性鷗

省先隴還舟望九龍山蛟山遊鯉山懷江城親舊兼

寄示內姪李用外甥俞堇二首

兵甲氣全消心旌吐向搖鯉昂雲際蛟斷草間腰習隱
山中歲辟徵沙兩朝莫期歸衣錦曾鄙去題橋

秀挹九龍山還鄉未是還水風秋意爽霞日曙光殷隴畝
諸甥托詩名內姪攀城中盛親故天與幾多閒

題朱廷佐聽竹軒

開軒能聽竹古意未蕭蕭先代多充耳伶倫得奏韶寒熱
雲嶠雪秋殷海門潮過客詩凡幾天光酒面搖

哭夏生幼文

秀質三花絜才華五鳳能星娥銀漢會天帝玉樓徵衣靜
庭闈綠窓虛雨雪燈重過稿容容猶覺暎壺冰

乙丑秋書

腰痛非干米暇昏漸廢書靜知天運密老與堦程疎綠苔

黃甘外紅鮮白小初熟帶其骨味容易歲云除

丙寅清明日書二首

清明二月晦重潔祭餘觴旁舍火新活兩絲衣漸長膝前
簾幙雨夢裏隴園霜何意辛夷發花發紫紫筆房

破屋遶王田人生狎狗鞭知車婦入道元亮醉逃禪水蔓
紫風亂山花影日圓黃龍浦東直堪隱載家船

園館雜書四首

竹樹藏山石作門魚缸水帶洗花痕鶯聲又在雞聲外老
不勝官只住村石拂蒼雲坐若枯強名何物靜相於薰

風似識閒邊事樹葉芹花水一盃青春白日去無還天
假溪園小有山林下軟莎遮坐石何人來對片時閒

殊鄉春色不曾濃才力新兼病思慵一枕清風聞格磔半
餅香雪酒浸菱蓉

挽高僧炬照菴有後序

石壁雲無礙曇花水絕清真為房館將四萬可憐生

予自龍江挈舟遊湖山時照主香林嘗延入懺堂躬喚
鷲舞作香茗供陪觀蘇文忠題名且示學士黃文獻文

一什留繼其宿山故事不果頻別贈照二首云學士愛
山栖一年韓衣蘇帶迴同緣書臺未築老僧在金粟滿

林香大千路入飛來急雨晴水懸風磴助秋聲人家大
樹都黃落白足山人自在行遂累松曾不踰月鄰敵大

至照碧瞳長眉烟霞標表義然獨不去兵有樂為後
汲者香林既晏然照乃往脩址寶塔善行益彰壬子歲

赴今高僧選居無何沐而趺坐卒文獻字潛卿與照
為方外交及黃歿擬築黃公讀書臺傳不壞云

梧溪集卷第六

梧溪集卷第七

江陰王逢原吉

連理梅頌有前後序

逢謝病家閒園之十有七年上春海曙岩左藻德池水
陽梅大小幹四氣合理屬形色無間特然危立當龍門
浪石偶始見焉僉愕以為瑞越二月二日家孀告誕
男孫乃仲子攝所出者是日長庚宿于奎抑逢命躔西
分適符而梅也藁萼玉作花香艷景意動曠會洽宜乎
觴而頌曰

荷欵梅瑞岩壑合衆幹返大朴理屬氣強兼弱先春藁根
性孤彙感清影肱江韻皇英颺弗挽雪愈貞石丈盟世澤
涵嘉應毓陰德積裕慶續宗母各家惟睦猶實有仁後其
蕃熟也耶

逢頌梅已竊興憶故園菜亭南紫薇木連理尤特異先
嘉會君嘗慶宴里儒陳復雷輩于亭上時逢僅有長嗣
掖從在侍陳執觴起進予曰而大母徐諱闈芳屬未有
後祝而伯父諱忠甫三歲強負避亂兵夜仆葑蕩數濱
死有勸棄之者而大母輒涕咽良久諄語曰既子而棄
焉故殺同寧死生俱也卒脫于難晚始得而父諱惠迨
寇吏他郡月寄俸具鮭腴餘則班諸族之貧者寒陰雪
雨鄰伍有不能舉火歲率濟饘粥而大父潛昭齋元初
卒相傳好延士士數靡怠遇事謹敏宅心夷厚鄉稱
長者而伯父至拊爨也而父義甚同胞倍與產業而姑
歸而蚤喪又躬為殯埋盜其丘木則懇于官仍歲謁
時祭之兩甥女還往三十年郵養如一日夫和氣致祥
植物先應此豈偶然哉座客咸譙盡歡醉散興所言

歷々今不忘於乎鉤遊先跡愴墮夢境流滯餘行
朝露莫知人世竟奚如也雖然天理不泯世澤或未
幼孤謂諸外孫莊寡謂孟仲二女乃復相尋于家事捐
城跡屏病句有司追於起藥石杖枕荒寂間時吏部敬
依起取惟尔惟尔拯等上思慈夫志下見篤於行若孝若悌
大有實茲頌聲則王氏黃灣諸靈將不在他日佳子孫
是望是慰是年壬戌三月初度日書示披攝拊
隱憂六章時有司奉吏部符敬依

今旨起取

箕舌兮房耳交燭兮東鄙頌謝病兮四三胡謠詠兮迭萋
菲鷓高飛兮翼馬假蘭幽兮林下爛晨霞兮莫食潦秋
清兮爰酌之筭

獸有越陸魚有跋扈居巢處穴知體風雨辛游臨兮丁載
周以朝以夕兮五春十秋年老癯癯兮勿遣有詔人事時
沓兮紫芝禁桂聊夷猶

英團兮芍藥葉長鏡吾知兮眉如霜車尔華兮服爾章素
履諒无咎兮貞也悔亡所未亡兮隱憂中腸

虞士不往兮招維旌魯有兩生兮沒齒無名古道悠兮時
事并疑莫稽兮扶茅征貞菊延年兮姑喰以露英

雞鳴喞兮蒼龍上蟠鶴駕其朝兮竊謝病枕安須捷楚人
以機被瑤弊之謂蕭兮雲栖簷端於平策良被輕兮七

子闌下白帽管寧兮亦容于野

牛山兮鴉林林充兮培深彼藪澤兮大狝禽於乎窮簷短
景兮身衰遊心

震琳震澤中洞庭樂石也

震遺琳八琅音夔擊節袞應吟却西瓊謝南金樂哉幽深

超果寺祥慶禪講師頂相贊

骨聳岩厓胸含冰雪具正法眼鼓廣長舌坐斷泐峯高
孤絕將使一華五葉之傳三草二木之喻殊途而同歸于
轍者耶

數珠銘有序

瑪瑙數珠連瓔珞五事逢顯姓李氏諱靖真之手澤也
妣氏平居江陰時嘗諷心經暇舉是謂逢曰吾有不可
諱必納之罕堵中逢謹答曰唯命取後倉卒去兵難舊
物多所失遺而珠儼存追惟音容之隔已三十九年矣
今年癸亥秋雲間會伏龍山唯庵然師於松隱禪林築
報恩塔落成用歲其所書華嚴大典乃以丹髹小合置
珠而附焉於乎妣氏念其忘乎重銘諸石曰
唯心淨基弗垢弗隳手澤塔是歸尚神龍護焉

梧溪卷七

三

真率軒銘有序

邨人士許思敬營別業於華亭縣庠之東偏嘗德世之
狃儉失常肆奢致剝者夥矣乃慕溫國司馬公之真率
也以名其軒而介合肥翟守仁氏徵予銘銘曰
肉不掩豆齋相嬰脫粟布被漢臣知日食錢萬晉何曾後
賢真率世著稱簡素易直子其承

儉德堂陶爐蓋座二銘

維蓋覆爐猶天覆仁靜翁太極動舒陽春涓塵海岱巨細
念均至治馨香風氣載淳 右蓋銘

后土其載磐石其固鼎位奠寧香是用籲何敢事天存養
無素願茲墊民環堵永措 右座銘

節石銘有後序

石有節猶婦有烈孰謂之夫也志可奪乎

謁陳烈士廟墓 有後序

夙負聰明號聖童野狐西闕白干虹颺言佳室青鳥子效
順長江赤鯁公香按山朝雲決鬱翠苗沙枕樹龍蕊鑿夫
釋未談遺事餉吏連艘酹快風祀典寵輝荒寂表靈休昭
降混茫中蘋繁為寓維衆敬生氣英二月在空

予謝病自上海還省江陰先隴道謁夏港陳烈士諱忠
廟墓因憶幼侍大母徐氏傍嘗聞說烈士產杭宋末神
采煥異竊貫當盛暑躬送壺殮于力田者隔溝潦輒騰
擲界之若有神助壺未始傾覆及叩妖祥類多中由是
闔境稱為聖童迨笠墩寺黨弗靖守將莫知禦備乃閩
諸烈士首對曰化機不可泄既不獲辭復曰某日某必
闔城廂校率兵如期以待亭午浸懈散而寇果至縱焚
掠去守將蔑以藉口竟誣烈士殺之時白氣上千頃而

雨父老謂天雪涕云姊夫俞善二曰烈士堊沒陰陽

者流相墓位向當出土柩與侯封羊其先蓋業漁同漁
者網得一金赤鯉珠長大鬚尾奮掉目瞠然光芒其先
驚悟放之江是夕夢神孺告曰吾龍王第四子也誤覆
之網賴公活焉公之孫姓將必陰祐于民社于洋溟者
今烈士感通猶影纏而北南餉船安輸逾百稔田更屢
氓及四方販丁庸夫爭相奉香幣致牲醴籲禳忍少怠
夢誠應耶夫幽明二支一本也烈士誕鍾炳靈生髮甫
燥遽不幸死非罪而英爽凜卓弭灾捍患且久茲膺

褒命自天廟食世世視彼烽塵間起荏澤魚肉鄉子弟妻
女者不翅數十慝汗于九泉也已予忝生同里懼泯遺
跡於清暑暇謹繕錄前後所聞于詩左庶俟來者于寶
氏參考焉善二名思齊子梧溪王逢

竹梅莊辭 有序

竹梅莊者嘉定陳敷禹文之隱所也敷曾祖洪甫號梅隱有詩名宋咸淳間嘗次和靖處士梅花詩韻六十四首其用事造語佳者若號國平明朝北闕玉奴昨夜侍東昏雪裏根盤蘇武節水邊影弔屈原身此類甚多張公汝諧其壻也由進士累官至宗學博士文行優美後進咸以竹屋先生稱之敷娶汝諧曾孫女因并竹梅用名所居江西提學楊公維禎既爲記而逢著以辭曰物有類感兮德亦有鄰晉維王謝兮漢維荀陳斯竹梅兮儼若人噫直節立寒兮孤根返春尚勗兮爾後雲

夜漸短三首

夜漸短曉彌長統如五鼓天蒼涼文人醒眠斗下霜啓明太白參錯光周公次第朝明堂

梧溪集七

五

夜漸短曉彌長五鼓二點鷓鴣驚行弧夫殪彼天西狼微垣小星上煒煌仲山甫氏補衮裳

夜漸短曉彌長城烏啞啞翻曙光群臣夙興將鷹揚頌美吉甫孝友張周曆八百斯民康

桃浦李道玄世大族承其先業隱于農圃而能尊儒尚友予過其翠筠軒居因題以詩曰

依依小桃源盤盤美林圃逸人廬幽深萬竹翠如雨驚鳥罷遶夜太白靜瞻午雪存蔣詡節籟殷相靈語一家務滋德六月却煩暑適來共觴詠况喜謝簪組籜龍斬頭角不久會齊祖此理何致之虚心自太古

得兒掖消息

冢子官江左頻將好信歸敝衣鶉百結恩誥鳳雙飛璽鑰封常早經筵講不違三年當省覲環珮下彤闈

擊石一首癸亥冬作

古垣黠鼠窺篝鼎燈踈簾氄雀啄硯冰

奉天殿白聽野處擊石為歌媪所稱孝姑周褚節弥厲揮
秧播穀蛮謳避陳金寡清園種果蟲蟻餘生免湯火韓錢
生長富貴家義不再醮綠綿花葉徐竹房日蔬食隻影縫
紉屏塗飾杜曹冰檠善自持兒作童傳身姆儀清河山孀
手摘藻事母不欲煩兄嫂吾家髮女雙練裙孟也枿牙蒙
絲氛仲也藥種躬培耘備嘗茶藜亦厭聞君不見際絲貝
織勤歲貢厖吠雞鳴驚夜夢鬼車嘔風雨送錦字啼痕
忍淹鳳畏途征發雖與共目冷青紅蜃交竦嵐蛇霧蠖腥
林洞笳莫棄遺名義重時哉坤貞何乃眾君不見天孫左
降雲擾鬕霜姝月姊相高寒西王宴饗良瑤池干衝牙觸璜
鏘和鸞瓊真魚貫金樞蟠鳥使上下鋒劍翰於乎漆室處

女紆憂端猶有薄翠袖空谷幽居安

右擊石蓋傷歲景短迫男子多故婦女能勞而貞焉後
皆鋪連空房遠道之不失其守者或謂予老伏荒遠無
補於民生得錄數節義鬼亦足自見然尚有遺者其一
夏葉氏事姑盡孝敬翁病痿凡七載日滌簣易席必親
翁卒喪製為強宗所奪躬再備弗較至辭色間終身不
矜怨其二徐謝氏諱蠲素疑重當苗兵燬掠謝從夫逃
適苗遇驅辱之時里閭少艾被繫相屬謝阻坂橋遽厲
聲曰橋有柱我儂趁虜可乎苗怒殺之既而悔語眾曰
彼烏淫之清濟也眾喑去於乎元季清亂若葉謝者
譬服古冠珮甘碎裂于食弱肉者側此無他世教民彛
未嘗一息絕滅也遂追書十詩左

古懷

耕田廢兮民無為生逃而學老兮玄教浸興千載兮靈社
晉之瘁兮賢造林下菊就穢兮蓮有芳荆軻詠託兮古懷
疇寫

石田研銘

石應兮文躔窪涵兮紫烟假吾道有年育材飯賢嗜世斯
田斲于天

采芝辭有後序

維北土密兮維時金商芝蕞生兮色中央莖玉紫兮霓白裳
躬露采兮奉先聖王噫鷹擊兮草霜尚父邈兮斯文祥

予自幼至壯詩夢頗多地荒存菊本人老發梅花紅芳
飛血盡黃蝶上、衣來大眠牛斗地鯢躍鳳皇池乾坤人

鮮獲歲月鬼門關雪落蘋花盡青浮山影來簾卷東風
燕子還天清月、淡淡梨花窗後得草霜鷹鳥始擊之句

梧

今年丁卯垂七十矣八月二日己酉園北小山濯風所
見芝蕞茁草間因發咲曰靜觀世間何者非夢耶遂作

是辭湯紀如此

瓢湖月夜舟中短歌

鷺如舟兮舟如鷺我不知乘風兮風乘我為濺飛爽兮飄
揚漪星月倒兮相迎隨降沈寥兮金節舞空明兮文綺澹
遊忘歸兮神界天借嗟白日塵一冥兮曾孰知有清夜

壙銘

戊辰元旦書時壽七十家間園丁王逢門生周畿刻
驪駒山園北小山儀鸞水所居張汪首西正立杜斐士詩

旌忠孝節義鬼幣交將相公侯禮推乃家辟地兩辰已布衣
疏股善脩己草木禽魚知姓氏昨惺惺今起起無強近親

鮮昆弟有芹薦者二三子

美瞿彦德有序

彦德名懿元故兩浙運使霆發之後曾孫也幼孤事母
 猶父同居三十年一旦以非罪在徙中懿泣懇于官曰
 罪合坐懿妣無與官義而聽之及事白婦妣已病歿懿
 延師勗教其子里士鍾景元謂予曰運使公之子時習
 仕至潯州路總管妻張氏鍾氏前後並事母姑葉夫人
 盡孝敬懿於家門無忝矣乞歌詩美之詩曰

海邦甲第連雲起時異禁殊多外徙瞿家林氏勢蒼黃
 動中心不能已廬殫地竭籍送官毅然代妣人具歡鵲鳥
 罷遠星月夜鴛鴦雙渡江淮寒望中溝填或野露雄風獨
 轉金雞樹涼天移席竹林遊曉漏整鞍茅店渡妣氏云亡
 弟影孤躬親致禮師訓謨行看長大率相保先為歌詩歌
 道途

梧溪集七

吳仲圭山水為李源復題

我生未了烟霞債見水見山心所快兵戈瀕動十年餘真
 水真山不如畫梅花道人吳仲圭斯畫乃出胸中奇無聲
 詩託有聲寫沂也咲謂非公誰沙洲吐吞石齒齒三脊仙
 茅雜香杜錦繡天開靈鷲雲笙竽籟過蒼龍雨一杖商翁
 自外婦方舟漁郎若相語葛藟古木苔蘚斂形若槁立湊
 理春屠麻略約密映帶天莫我警老作漁商鄰漁或釣周
 商避秦

趙文敏所畫唐人馬楊鍊厓魯道原二提學詩後為

桃樹浦王村閩題

肉駿花驄真權奇彷彿出浴西瑤池細觀元是勅賜太
 者鄧公奪取少陵哀賦詩黝雲湧身霜四蹄一目冀北空
 駃騠金神勃王房駟黯難及耳卓昆侖低奚官玉面如湍

月豪猪鞞靴鞞佩玦烏巾漆光袍錦鮮纒絲牽之駝欲活
云誰手貌趙松雪復書杜詩成兩絕廉夫道原繼題品世
殊荐要山人跋山人數齒六十來分甘欸段終蒿萊掩卷
萬里風霾開

犁星芒有引

予寓隱烏涇之五年得一石頗秀銳想像其狀類犁星
之芒犁參之俗呼也畢居參前尤類犁之首因復名畢
曰犁星芒云及賦詩已西溝丁墾田至遂書以遺之詩
中多用星名詩曰

太湖雲根四尺強璞然一氣孕少陽蘄峰岸壁秀而蒼山
人字曰犁星芒見之在天八穀穰旄頭夜彗星左旁斗牛
三宿枵相當天厔懸磬天田荒箕精吐舌舔粃糠星芒下
韜儉德堂有應斯叩如琳琅有儼斯望如珪璋遺世特立

梧溪集七

九

者可方雲備霞峗山人章躬拜心籲紫府皇庶回大東沆
小康於穆皇靈時雨暘神夫服役農致祥

訓趙天放并後序

天放曠翁吾故人衣帶水隔逾十春昨寄哀歌歌動神孤
梅泫然弱柳顰君不見鴈奴知更烏子反哺牝馬之貞有
焯簡素日車六月驅火雲冰雪慄慄驚蟲蟲人生粹美嬰
世紛一時百世薰猶分曠翁今策詩家勳令我起立筆欲
焚思共石坐飯野芹

右鶴沙瞿婦喬永貞氏淑而艷甲子歲六月六日倭賊
欲犯貞拒不絕罵刃下死趙天放嘗歌之有曰倭賊殺
民凡六百獨有婦喬死貞白至是連阿都赤代主受獄
會赦免沈疇代父械而死之二家狀徵附梧溪集行焉
嗟乎痿人不忘起予固衰疾久屏筆研然節孝義三者

棄而不錄豈情也哉趙鎮名天放其號云

望美人三首

望美人紅顏幾見桃花春鯉魚三十六金鱗鯤躍鵬化天之津天津橋在河南春風一度花還好鏡中紅顏看漸老美人當來竟不來淮烟遮斷青青草

望美人春復秋碧梧銀床露華白吳臺越宮煙草愁黃河不入淮泗水美人坐擁萬虎兕煉石既補西北天少須長

劍東南倚

望美人一朝又一朝霰雪漸邇旌車遙使無入楚答問鼎神有鞭石梯爲橋長江天使限南北况復南軍夜傳食人言美人何可得駉北三千皆鳳臆中有晉駟高八尺

題括蒼趙秩可庸兩使東夷行卷

維日本啓國曰卑彌呼氏始覲桓帝朝乃冠帶理爰至唐

梧溪集七

十

宋若父母撫子有元征不庭由行人匪賢或梗或通垂八十年

明君作遠用柔表降貢違厥臣僕羞

君其韜威秩是謀再詔秩往僧勤闡等十僧同舟鼓鑿轟

震龍伏秋旌幢電燁香霧浮彌月說法飛梅陳名王恭迎

駕象輶秩也徐策天駟騶仁義漢節詩書吳鈎掠耽羅觀

毛人窺扶桑駐流求陽舒陰翕上德意冒嵐衝濤百艱勤

繡衣經寒紫貝闕驪珠呈春白玉陞收名汗竹光汗裔折

丕趙咨烏並轡

遂歸二首時歲癸亥上春有序

遂歸二首者逢謝病將省先隴而作也洪武辛酉夏平

陽府隰州太寧縣丞蔣會以逢文學疏聞于

上既有旨召會逢怔淋孿跛更輟互發幼子拊屢訴有司

歷十又九月弗見 既遣行迫甚乃十二月朔

京師大雪時長子掖承乏通事司令從百官侍間

特恩命吏部符止之符下監境者艾慶拊曰山人歸其

乎逢性曠野寒宗微跡竊已略具內元李四蒲萄圖詠

板行舊矣姑記去鄉兵垂三十霜僑烏涇亦十有七暑

太尉張公闡幕省僚之板浙相達公蕭山之板迨今松

守林公慶王公貞葉公茂薦辟並鋒逢念夙佩大母徐

氏慈誨先君庫使嚴訓學粗自立素負承祀遺囑炯炯

在心况諸墓久榛女兄張婦塋淺客土鷹仁狐首途暮

愧并扶僊西向理勢不得緩耳序以陳情詞以紀別詞曰

鴻冥飛兮天遺烏號寒兮孝是思長缺何所利兮蒯緤歌

客曾不若鈍雨兮荷老隴陌席絳于珎佩隱于玟大江群

山釋然歸身孩尚知愛庶予及薦新兮

世故增畢兮家難纏微老既戒得兮病盍賦歸乃裹藥兮

囊衣霜露備極兮梅柳具輝夢維何兮吉地隴青兮鬱

金草帆神風兮醪粳香飛九峰兮湧三泖歸遂兮信美中

赧兮且喜無碑兮麗牲有錢兮剪紙日下臨兮春再班影

孤鷗兮橫濟諒先業兮可復將天梯兮絕攀

短誦留王公上海有序

公名瑛字子華魯人也由安豐縣學訓師來為上海逾

年以微罪去而處約一如在官時嚴冬淮已冰父老咸

欲公待春水生歸里乃便予父老中謝病者也又忝同

姓因撫實成短誦託門生張叙轉授之幸聽而留焉蓋

公之能仕也安已以貧能退也致民盡禮斯二者之善

將使謝令輩知所愧做矣乎評曰

龍集作噩月建子更十為縣一婦里淮冰膠舟雪埋軌公

無遽行遲春水

覽吳氏二賢母傳誌 有序

永嘉吳孝子荃母林廉氏年二十二懷妊其夫方病革嘗指顧其腹既亡一月生荃又閱月大父亦歿大母胡節氏率林歛葬如禮共誓保遺孤時至正末凶魁謀不利于荃欲劫致林林昇姑與荃遁遂免荃稍長就學躬織績以資師贄不幸林又卒胡益飭之力由是荃鴻漸豹蔚粲縟里術孤宗緒業賴以弗墮於乎吳氏貞萃一門慶衍冲子富貴肇憂患之極天豈遠人乎哉荃今拜監察御史既錄傳誌介友人章瑱致書於逢因掇其槩系以詩曰

有身當化延陵土有血不鮮將軍鼓夜黑昇姑衝猛虎教兒從胎哺從乳兒甫勝衣事書帙阿嬭阿婆相喪失紫鸞

梧溪集七

十二

誥賜屬此時金魚杖擊悲無日草廡猶存報答心柏孤善保昂藏質重闈北堂聞欬歎小雨繁霜動悽怵歲甲子春正月吉煙霞老卧田巖疾誌連郇雲墮圭華君不見天魔舞隊元末時事酣七盤海內盡戴琉璃冠宋末時事人情本常世道變之二賢母光瑞安於乎泰山巖巖石可刊三遷永銘孝者肝

半古歌

烏涇婦女攻紡績木綿布經三百尺一身主宰心窩低十口勤勞指頭直通來錐刀事苛刻直處難行低不得狐狼梟獍躬踐跡舜典臯謨供戲劇君不見王伯夷狄禽獸主腐儒作歌歌半古

趙量遠年七十五縣舉學諭夜酌閑園口號以贈

丁寬韋編久在携趙德校牒殊遲遲揚雄草玄僅覆瓿匡

〇七律

鼎說詩徒解頤漫二夜迨天罩野且磬燈前椰子學明年
朝正彤闈下開國承家慎陳寫

次韻信道元長老羨溪草堂見寄之作有後序
石橋方廣多可稱中有萬歲之紫藤雲深幽磬響或作
溪面落花香欲凝下方巒巒金碧氣老禪跏趺蒼翠層天
柱穿山甚峻爽杖錫讓尔今先登

道元少與茅山道士張伯雨前進士會稽楊廉夫齊名
嘗有西湖竹枝詞云湖西日脚欲没山湖東新月牙橋
彎南北兩峰船裏看却比阿儂雙鬢髮至今為絕唱
或者病其浮薄廉夫謂曰金沙灘頭菩薩亦隨世作戲
或者釋焉誠演二公與道元同字皆博學負重名而道
元屢契度世僅住小山林而已今年八十餘託友生錢
岐以詩見寄且囑曰幸致敬席帽翁予不久天柱家山

去也於乎台鴈山天柱豈特道元林龕在耶

丁卯冬季即事

庭樹禽翻雞唱初韶簫錢磬老饕食厨冰壺不忝元脩菜
茗葉何慙丙穴魚一線漫長迷五色寸陰真足助三餘暖
隨水霧先春發寒併冰山與歲除

立夏日書

孟夏四月朔薰風當午時諸陽老益壯一氣轉何遲錦帶
花裊黃精實纍纍青陰覆盤石無意坐彈棋

病中述懷

終老甘農圃烟蔬帶豆田無官天曲宥有徑世旁緣暖趁
茅茨日寒知竹柏年私懷復何憊吾道不無傳

壽亭成

鑿壑浮春釀親夕慶壽亭麻裘萬石長襪帽小城丁易

卦懲同吝騷詞詫獨醒三郎市諸藥魚菜附歸舫

題管夫人畫蘭

趙管才高柳絮風水晶宮裏寫幽篔秋來綉作夫君佩
咲接回文漫自工

題二高齋

並看兵書白象林半生鴛被折寒霜英雄自伐蛾眉芥不
寤齊王聘來秦

題甯戚叩角齋

南山石爛短衣單叩角歌興夜未闌一出客鄉成底事莫
將堯舜料齊桓

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

積雨後同野橋小眺橋予所名僧善應造者

一雨柴門三日泥踈踈煙起野橋西晚扶斑竹聽歸馬老
把青銅見伏犀中外瘡痍需藥石尋常冠帶夢雲霓多情
紅素芙蓉影靜卧秋光不過溪

重過曹樞掾別業兼唁其子克莊

憶同司業過瓜溪爾汝鄉音話舊栖老志入雲相抱犢惡
聲連雨獨聞雞角弓嘉樹嗟猶在絮酒生芻忍自携竊頌
佳兒肯堂構柴門月色曹舊齋名未曾題

甲子歲初度重陽范道士來祝香就書以遺之

甲子重經初度翁一家雞犬在雲中柳眠淡曉陂塘月花
信輕寒里社風顧影乾坤聊自壽與時消長有誰同天人
似格劬勞念雙炬光交酒面紅

桃浦王叔閏省兄仲祥往成都還賦此書二紙一以

梧溪集七

十五

美其義一以寄其兄兼簡蘇天錫歸子良二友

綠畫軒開卜夜筵再歌棠棣脊令篇險經艷潁瞿塘石心
戴烏蠻白帝天先世隴田欣具在故鄉親舊念同遷百花
水暖龍魚躍取次三槎候綵船

安初心禪房會任伯禧就題所畫馬卷

畫承都水月山擅高名禪壁篝燈話半生醉裏野狐窺火
宅筆端天馬降房精情親况有詩書好老大俱無寵辱驚
憶寓龍江未春歇桃陰連苑珮珂鳴

沈茂碩葉仁伯范叔中同登超果寺祥磨榘都綱所

建一覽閣留題楣間

旃檀香閣煥璇題緇褐俱閑望弗迷九翠遠兼風露入五
茸橫帶海雲低梵天靈鷲音西下古井神鰻氣上躋非幻
難言且援筆白花紫竹其後山巖名儼巖栖

過徐氏寬閒軒居諸門生聯句附

寬閒野三間低小簷平生導儉德中歲謝勞謙藥火
蒸雲龜茶香出午簾泥塗盛車轍不是學陶潛

園林聞獨樂逢几杖喜同操餉道疲牛馬柴車載

糗醪詩催時雨足賢聚德星高一水園精舍

餘寒戀殺袍少陵糧芋栗仲蔚徑蓬蒿雞對清談

暇魚忘赤尾勞香泥融燕寢新益響鸞縹交

蕉雲霄義遠兼沼汕毛張儀徒事客郭解漫矜豪安得

扶衰憊相鄰遂晦韜逢

周美哀辭有序

六磊周美本細家息孔胥妻也孔素無鄉曲譽乙丑冬
舟過塘上鄉人偽邀飲醉攸舟以民害懇于朝孔自度
不免密書與妻蚤尋仙遊庶絕軍配族黨難論之其妻

颯得故神色不亂言咲如平常且備酒饌延親鄰是
夕素服雉經死時年二十九孔聞之曰予伏誅梟木無

遺憾矣國西媪張毛云
潢潦奔流合東南乖氣鍾憐生俱薄陋就死獨從容道殢

懷金璧閨情采菲對親鄰競嘉歎不復佐膏饗

張貞哀辭有序

予門生張叙女諱貞嫁海縣周曾以復入公門刺而瘦

死先是貞在徙籍懼配軍投秦淮卒及周屍昇過其所

貞湧浮水面神色踰五日夕不變認者曰此呂學諭甥

張訓導女也殉夫歲聚寶坑舅姑能無念乎予哀之曰

堂上嚴君海縣儒素聞出嫁義從夫佳人命薄非今日那

得將心報舅姑

悟溪集卷第七



梧溪詩集後序

梧溪詩集七卷江陰王原吉先生之所作也原吉幼從陳漢卿先生學詩漢卿與柯敬仲嘗同事虞伯生得其傳故為詩春容而激切優柔而慷慨與有元盛時楊范諸公齊驅並駕焉先生諱逢原吉其字也以祖母徐夫人手植雙梧于江陰橫河之上不忍忘因自號梧溪子世家江陰元季避兵徙松之青龍江復徙上海之烏涇而居焉元至正間嘗獻河清頌于朝大臣薦之辭不受後張氏開閣姑蘇招賢禮士時士多為之用先生獨高蹈遠引不污一命

國初有以先生文學薦於

上者召之甚急亦以老疾固辭噫先生之節既示如是其為人可知矣子掖洪武初任通事司令轉翰林博士兼

文華殿經筵事卒于官

勅葬故寵掖子徠嘗以才德薦至

京師未官而卒徠子輅宣德中以秀才舉授江西南康府照磨到任未幾以疾卒二子曰顏曰孟俱幼不能還遂僑居南康星子之東澗祖母

黃母徐躬紡績以教二子今俱有成先生未歿而是集已梓行于世先生嘗自標題其微辭奧義及人名地里之難曉者於各詩之首其第七卷則先生既歿而掖之所刊也先生畫像楊鍊厓諸公皆為之贊乙卯歲星子之僑居厄於回祿故與掖所授

誥勅俱無存焉吁可惜也始輅來南康時留是板於烏涇故居正統戊午顏歸省先隴始携乃以來則板之失脫與字之昏剝者十有餘矣歲乙亥余來守南康聞之亟取視焉幸其家尚有原本乃命孟遂一酬對繕寫而命工重刊之以補其缺是集乃復得其全云顏子孟皆恭謹好修讀書知大義善事其母子孟今為社學師而顏遣其子訖入郡庠為弟子員可謂能不墜其家學者矣

景泰七年歲在丙子秋七月之吉
賜進士中順大夫南康府知府錢塘陳敏政書

梧溪集後序終

虞山觀菴陸貽典校補于汲古閣丁巳九月下浣



圖書在版編目(CIP)數據

梧溪集/[元]王逢撰.—北京:北京圖書館出版社,
2005.9

(中華再造善本)

ISBN 7-5013-2893-5

I. 梧… II. 王… III. 古典詩歌—作品集—中
國—元代 IV. I222.747

中國版本圖書館CIP數據核字(2005)第103617號

ISBN 7-5013-2893-5



9 787501 328932 >

書名 梧溪集(全六冊)
著者 [元]王逢 撰

出版 北京圖書館出版社(100034 北京市西城區文津街七號)

發行 Tel:(010)66151313 Fax:(010)66174391

E-mail: Btstxb@nlc.gov.cn

Website: www.nlcpress.com

造紙 華寶齋

印刷 杭州富陽古籍印刷廠

開本 八

印張 八一·五

版次 二〇〇五年九月第一版第一次印刷

印數 一—二〇〇

書號 ISBN 7-5013-2893-5/K·1144

定價 二六一〇圓



Website: www.nlcpress.com

北京圖書館出版社 100034 北京市西城區文津街七號

電話: (010) 66151313 傳真: (010) 66174391

地址: 北京圖書館出版社

